

# アルロン D-12

## コンクリート・モルタル打継ぎかさ上げ用接着剤

エポキシ樹脂は圧縮、曲げ、引張等の機械的強度に優れており、しかも鉄、コンクリート、石、木材などさまざまな素材に強い接着力があります。

アルロンD-12は旧コンクリート等に新しくコンクリートやモルタルを打設するとき使用すると強い接着性と防水性がえられます。なお差し筋を併用するとよりいっそう一体化が計れます。



### 特長

1. 新旧コンクリートの接着性に優れています。
2. 湿潤面にも強力に接着します。
3. 圧縮、曲げ、引張強度等に優れています。
4. 耐水性、防水性に優れています。

### 用途

1. ダム、えん堤の嵩上げコンクリートの打継ぎ接着。
2. 港湾岸壁、防波堤のコンクリート打継ぎ接着。
3. 防油堤、側溝の嵩上げコンクリートの接着。
4. 接着剤、注入剤としても使用できます。

### 性状

項目	種類	D-12	
		主 剤	硬 化 剤
主 成 分		エポキシ樹脂	ポリアミン
粘 度 (20°C)		20,000mPa・S	1,500mPa・S
		6,800mPa・S	
配 合 比 (重量比)		100 : 20	
比 重		1.65	

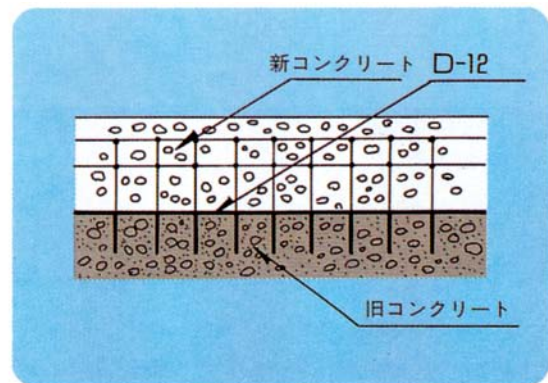
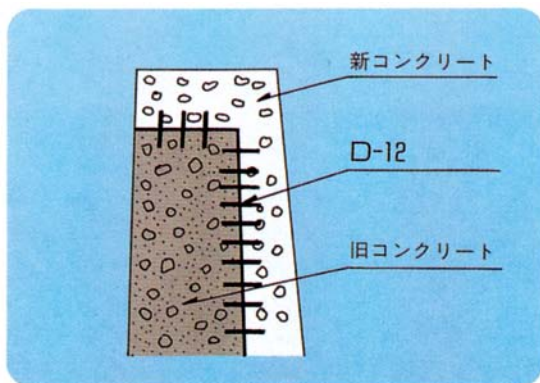
## 物 性

試験項目	強度	単 位	試 験 方 法
圧縮強度	107.9	N/mm <sup>2</sup> (MPa)	JIS K-7208
曲げ強度	60.8	N/mm <sup>2</sup> (MPa)	JIS K-7203
引張強度	27.8	N/mm <sup>2</sup> (MPa)	JIS K-7113
衝撃強度	2.2	N・mm/mm <sup>2</sup> (KJ/m <sup>2</sup> )	JIS K-7111
硬 度	81	HbD	JIS K-7215

### ◎D-12使用による新旧打継ぎ強度表

	曲げ接着強度		引張接着強度	
旧セメントモルタル乾燥面	6.6N/mm <sup>2</sup>	セメントモルタル破壊	2.6N/mm <sup>2</sup>	セメントモルタル破壊
旧セメントモルタル湿潤面	4.3N/mm <sup>2</sup>	セメントモルタル破壊	2.4N/mm <sup>2</sup>	セメントモルタル破壊

## 施工例



## 施工方法

1. 下地コンクリート表面の弱い部分、苔、ドロ、油類を除去して下さい。
2. 塗布面の浮き水はウエス等で拭き取って下さい。
3. 主剤、硬化剤を定められた配合比に秤量して下さい。
4. 秤量した樹脂を均一になるよう十分に混合攪拌して下さい。
5. 混合された樹脂を塗布有効時間内にゴムヘラ、ブラシ等で塗布して下さい。  
(特殊器機による吹付塗布も可能です。)
6. 塗布したら必ず次表の打設有効時間内にコンクリートを打設して下さい。  
(打設有効時間をすぎた場合は再度塗布して下さい。)

## ◎D-12各温度における塗布有効時間と打設有効時間

温 度	10℃	20℃	30℃
塗 布 有 効 時 間	3時間30分	1時間40分	50分
打 設 有 効 時 間	5時間	3時間	2時間
完 全 硬 化	14日間	7日間	4日間

## D-12の使用量

標準的な使用量はおおむね下表の通りです。

表面状態	使用量	1setで塗れる面積
平 滑 面	0.8~1.0kg/m <sup>2</sup>	10~8m <sup>2</sup>
ハツリ面 凹 凸 面	1.3~1.5kg/m <sup>2</sup>	6~5m <sup>2</sup>

## 荷 姿

1 set 7.8kg  
 (主 剤 6.5kg)  
 (硬化剤 1.3kg)

## 注 意 事 項

- 主剤と硬化剤の二液混合タイプですからそれぞれ規定の配合比率を厳守して下さい。  
硬化剤を多くしても速く硬化はしません、かえって物性低下を起します。
- 秤量した主剤(A液)と硬化剤(B液)をよく攪拌して均一になってから使用して下さい。
- 混合攪拌したものは可使時間内に使用して下さい。  
攪拌すると化学反応が始まります。(その速度は温度が高いと速く、低い程遅くなり、また一度の混合量が多いほど速く、少ない程遅くなります。)
- 施工時の温度が5℃以下の場合には間接加熱によって温度を上げて下さい。
- 本品を使用するときは、火気、換気に充分注意して下さい。
- 直接皮膚に触れないようにして下さい。もし皮膚に触れたときは石けんでよく洗い落して下さい。目に入った場合はすぐに水洗いし、医師の診察を受けて下さい。
- ご使用の際は、MSDSに記載しております注意事項をご覧ください。

# 日米レジン株式会社

E-mail: resin@nichibeiresin.co.jp  
 URL: http://www.nichibeiresin.co.jp

- 本社・工場・研究所 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地  
TEL.072-438-0321 FAX.072-438-0366
- 事業本部(営業部・工事部) 〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目13-13  
TEL.03-3563-2405 FAX.03-3563-2219
- 札幌営業所 〒063-0836 札幌市西区発寒16条13-5-1  
TEL.011-665-1666 FAX.011-665-6662
- 仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目4-8  
TEL.022-287-1577 FAX.022-287-5526
- 名古屋営業所 〒485-0012 愛知県小牧市大字小牧原新田字樋下1371  
TEL.0568-76-5678 FAX.0568-76-8590
- 大阪営業部 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地  
TEL.072-423-8363 FAX.072-423-8366
- 福岡営業所 〒815-0031 福岡市南区清水1丁目16-8  
TEL.092-551-6871 FAX.092-551-6842
- 鹿児島営業所 〒891-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2-1-8  
TEL.099-206-9161 FAX.099-285-2626

代理店